

発表テーマ：「人と馬との関わりについて」

発表者：船橋 輝夫

今回は、私の趣味である「乗馬」に関する歴史、「馬」との関わりについて一部ではありますが、紹介させていただきました。

まず「馬」と人がコミュニケーションを取り始めたのは紀元前4000年前に食用として家畜化がスタートしたことが始まりと言われています。家畜化が進み、次に人間が考えたことは、食用ではなく移動手段としても利用が進みました。

右図では「ハミ」について紹介しました。過去と現在で形状自体は大差がないことや「ハミ」の役割について紹介しました。

衝(ハミ)とは？

馬の口の中に装着し、手綱と連絡をする馬具。手綱を引く事で、馬の口に圧力感を与えて馬を制御する。車のハンドルとブレーキの役割と関係と考える。



2. 中間種

特徴

- ・軽種と重種の中間に属する。
- ・軽種に比べて性格が温順。
- ・スピードは軽種に比べて劣るが、力がある為、馬術競技や馬車など様々な場面で活躍する。



「食用」「移動用」として馬との関わりが進んでいき時代の移り変わりとともに馬の用途も変わり様々な種類の「馬」が誕生しました。馬の種類も様々で30種類以上となりますが、大きく3つのカテゴリーに分類されます。「軽種」といわれるサラブレッド、左図で紹介させていただいた「中間種」は馬術競技や馬車など様々な競技で活躍します。「重種」は主だって農耕や運搬を目的とされています。

乗馬、馬術というスポーツは生き物と行う唯一のスポーツです。また乗馬は生涯スポーツと言われ老若男女問わず誰もが楽しめるスポーツです。オリンピック競技にも分類されますが、これも男女分ける事無く競う種目となっています。重要な要素は体力ではなく「馬」と心を通わせるパートナーシップを持つことが重要です。

馬の動きは①常歩②速歩③駢歩④襲歩この4種類に分類され、乗馬では、常歩、速歩、駢歩の動きを行います。

馬の動きは4種類に分類されます

- ①常歩
 - ②速歩
 - ③駢歩
 - ④襲歩
- 乗馬
- 競馬

これらの動きを動画を用いて説明します



2. 速歩(はやあし)

分速220m程度の動き方。

スピードと姿勢に合から最も効率的と言われている。

4拍が対称で動く為、2拍7とひる



1. 障害馬術-動画



競技は主に3種類あり、『障害馬術』『馬場馬術』『総合馬術』になり、そのすべての競技がオリンピック種目です。

障害馬術は、決められたコースをミスなく早いタイムで駆け抜けることができるかを競います。

馬場馬術はフィギュアスケートの馬版のイメージとだけだと良いかと思えます。決められたアリーナの中で、決められた動きをいかに正確に美しく魅せるかを競います。

総合馬術は、3日間、同一人馬で行う競技となります。

1日目に馬場馬術、2日目にクロスカントリー、3日目に障害馬術を行います。中日に行う、クロスカントリーは競技の中で最もアグレッシブな競技です。

上記の説明は、乗馬におけるほんの一部です。

私も服部緑地乗馬センターで日々、馬術を行っております。

もし、ご興味がある方がおられましたら一緒に乗馬を楽しみましょう。

TABLE SPEECH



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

馬と人とのうまい関係

日鴻商事(株)代表取締役社長 船橋 輝夫

馬と人がコミュニケーションを取り出したのは、紀元前4000年以上前、食用などの目的で家畜化したことが始まりとされます。次に人間が考えたことは、馬で移動する、乗馬としての馬の利用でした。その際に使われたのが、銜(は)(くつわ)です。馬の口の中に装着し、手綱と連絡する馬具です。手綱を引くことで、馬に刺激を与えて制御します。車のハンドルとブレーキのような役割を果たします。

時代とともに馬の利用方法も広がりました。その結果、品種改良により、30品種以上の馬が誕生しています。三つのカテゴリーに分類すると、「軽種」といわれるサラブレッド(イギリス在来の競走用の品種)、スピードは軽種には劣るものの、力

があるため馬術競技や馬車などさまざまな場面で活躍する「中間種」、主に農耕や運搬が目的とされる「重種」です。

現在、乗馬は生き物と一緒に行うスポーツとして楽しまれています。乗馬で重要な要素は体力ではなく、馬と心を通わせるパートナーシップです。馬の動きは、常歩(なまほ)、速歩(はやほ)、駈歩(かほ)、駈歩の4種類に分類され、乗馬では、常歩、速歩、駈歩を行います。速歩は分速220m程度、4肢が対称に2拍子で動き、速さと疲労具合から最も効率的といわれます。

馬術競技は、オリンピック競技にも採用され、男女区別なく競う種目です。主に障害馬術、馬場馬術、総合馬術の3種類です。障害馬術はさまざまな色や形の障害物が設置されたコースを順番通りに早く駆け抜けられるかを競います。馬場馬術はフィギュアスケートの馬版のイメージ。会場内で決められた動きを、いかに正確に美しく魅せるかを競います。総合馬術は、1頭の馬と1人の選手が3日間を通じて行う複合競技で、1日目に馬場馬術、2日目にクロスカントリー、3日目に障害馬術を行います。クロスカントリーは広い自然のコースに多くの障害物が設置され、競技の中で最もアドレッシングです。

(第2660地区・大阪府・豊中RCCにて・同RCC会員)